

子宮卵管造影（HSG）を受けられる方へ

子宮卵管造影（HSG）とは

造影剤を子宮腔内に注入し、造影剤が子宮、卵管、骨盤腔内へと拡散する様子を X 線で撮影します。卵管の詰まりや形状、子宮内腔の筋腫や内膜ポリープ、卵管周囲の癒着、子宮奇形などを診断します。また、造影剤注入により卵管の通過性が回復することがあり、子宮卵管造影の検査後には妊娠率の向上が期待できます。

検査日の予約

☆ 検査日は 1 日目 月 日 () :
 2 日目 月 日 () :

- ・生理後 10 日以内または医師の指定した期間内に検査日の予約をお取りください。
- ・造影剤には油性と水性の 2 種類があり、油性使用の場合では 2 日目の検査分も予約が必要です。
なお当院では解像度の高さ、HSG 後の妊娠率の高さから油性造影剤の使用を推奨しています。
- ・お電話による予約は受付時間内をお願いします。
- ・予約多数のため希望通りに予約できない場合、次の生理周期での予約となりますのでご了承ください。
- ・検査中の痛み軽減のために、事前に痛み止めの坐薬を使用することもできます。希望される方は予約時にお申し込みください。
- ・検査が排卵後になる方は月経開始から検査日まで避妊してください。
- ・予約のキャンセルや変更はお早めにご連絡ください。
- ・質問については受付窓口ではなく医師または看護師にご確認ください。

油性造影剤使用の場合の検査日程

	1 日目（子宮卵管造影）	2 日目（レントゲン撮影）
①	(月) 10:00	(火) 14:00
②	(火) 8:30	(木) 14:00
③	(火) 10:00	(金) 14:00
④	(木) 10:00	(金) 14:00
⑤	(金) 8:30	(月) 8:30
⑥	(金) 10:00	(月) 14:00

※ 8:30 予約（②または⑤）の方は、痛み止めの坐薬を使用することはできません。

造影剤の種類と特性

	油性	水性
造影画像	鮮明でわかりやすい	やや不鮮明
結果判明まで	1～2日	当日
造影後の効果	卵管開通効果 妊娠率の向上	油性よりも劣るが同様の効果あり
造影剤残留期間	数ヶ月～数年	短い
痛み	あり	あり（油性より若干軽度）
副作用	気分不良・血圧低下・発赤・湿疹・かゆみ・嘔気など	

※子宮卵管造影（HSG）に使用している造影剤には、ヨードが含まれています。

過去に造影検査などを行ってアレルギー反応が出たことのある方や甲状腺疾患（バセドウ病、橋本病など）のある方、喘息、てんかん発作のある方は事前に医師にご相談ください。

当日お持ちいただくもの

- 検査承諾書 基礎体温表 ナプキン

※承諾書をお忘れの場合、内容に記入漏れのある場合は、検査をお受けできないことがありますのでご注意ください。

□料金…油性使用：1日目 約 8,000 円（カテーテル代実費を含む）

2日目 約 1,000 円

水性使用：約 9,000 円（カテーテル代実費を含む）

※痛みを極力抑える特殊なカテーテルを使用するため、材料費 2,500 円(税別)を負担していただきます。

当日の流れ

○来院と受付

予約時に痛み止めの坐薬を希望された方は予約時間の 40 分前、それ以外の方は 5 分前にはご来院ください。

○検査 1 日目

- ①造影剤注入前に 1 回目の X 線撮影を行います。
- ②内診室に移動してカテーテルを子宮腔内に挿入します。
- ③そのままレントゲン室に移動して、造影剤を注入し、2 回目の X 線撮影を行います。
- ④内診室に移動して消毒を行い、タンポンを挿入します。

水性使用ではその日のうちに 3 回目の X 線撮影を行い、医師から検査結果の説明があります。

※お荷物は持って移動するため、事前にまとめていただくようお願いします。

※検査終了 3 時間後に必ずタンポンを抜いてください。

※出血がある場合は入浴を避け、シャワー浴のみとしてください。

※下腹部の強い痛みなどありましたら受診してください。

○検査 2 日目【油性使用のみ】

予約時間の 5 分前にはご来院ください。3 回目の X 線撮影を行い、医師から検査結果の説明があります。